

美術館巡りやアートの楽しさを伝える雑誌の制作

1. 作品概要

美術館をあまり訪れない人が自ら訪れてみようと思える、美術館巡りやアートの楽しさを伝える雑誌を InDesign で制作した。

2. 背景

近年、美術館は写真撮影を来場者に促す傾向にある。しかし、SNS 映えだけで終わってしまっているという現実もある。

インスタグラムで「#美術館」と検索すると 144 万件以上の投稿を見ることができる（図 1）。しかし、その投稿の大半はアート作品に詳しく触れられたものは少なく、写真映えだけで終わってしまっており、美術館の定期的な来場には繋がっていないとも言える。

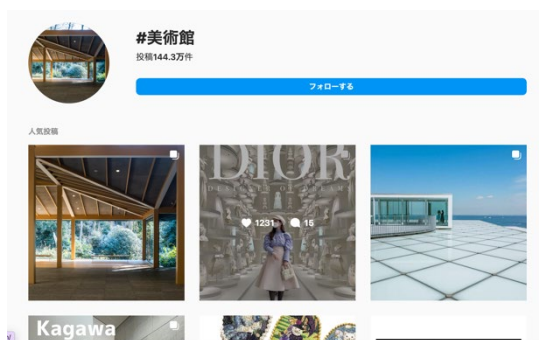


図 1 Instagram での検索結果

そこで、趣味で様々な美術館を訪れた自身の経験を活かした視点から、若者に SNS 映えだけで終わらない「美術館やアートの楽しさを多くの人に伝えるものにしたい、何

度も美術館に訪れてほしい」と思い、作成に至った。

3. 目的

本制作は、美術館を数年に一回ほどしか訪れない人が、自ら訪れてみようと思うようなアートや美術館の楽しみ方を優しく紹介した雑誌を制作し、美術館に訪れる若者を増やすことを目的にしている。

そこで、美術館に来場する頻度や理由を 10 月 27 日～10 月 4 日まで Google フォームを用いて調査を行い、雑誌の特集の参考にした。

アンケート調査の結果、以下のことが分かった。（図 2, 3, 4, 5, 6, 7）

- ・美術館を訪れたことがある人は 8 割を超えたが、そのうちの 4 割が数年に一度しか訪れていない。

- ・あまり美術館を訪れない人は人からチケットをもらったり、誘われたりなど外的な要因で美術館を訪れる傾向がある。

- ・美術館が好きな人ほど 1 人で訪れる傾向にある。

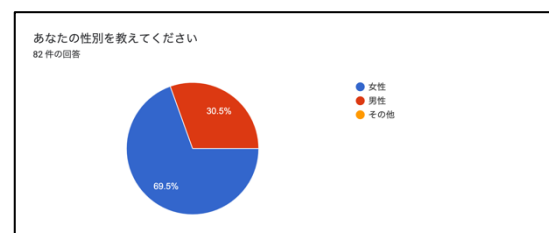


図 2 事前アンケートの結果 1

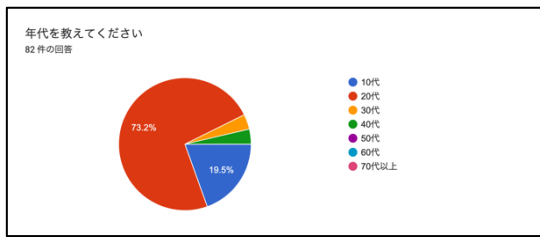


図3 事前アンケートの結果2

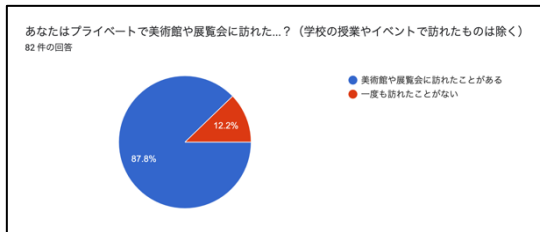


図4 事前アンケートの結果3

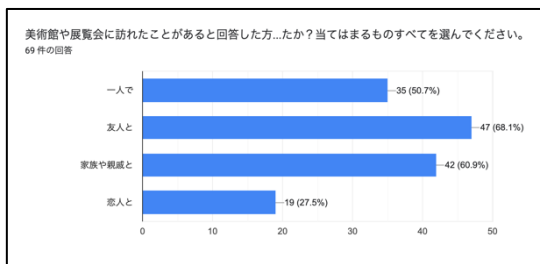


図5 事前アンケートの結果4

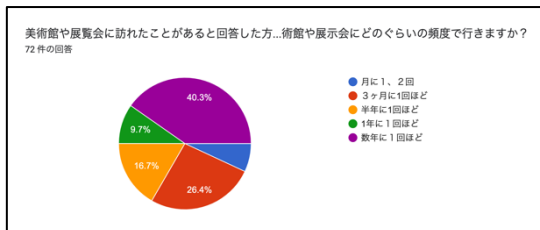


図6 事前アンケートの結果5

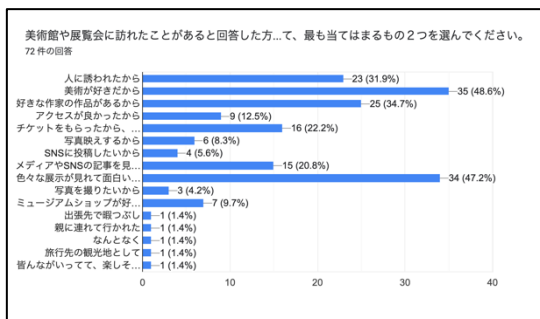


図7 事前アンケートの結果6

4. 方法

ファッション誌を読むように気軽にアートに触れて欲しいと思い、雑誌という形態で制作することにした。

雑誌の編集には、InDesign、グラフの作成や紙面のサイズ調整にはIllustratorを使用した。

本誌で使用した写真は自身で撮影したものや友人から提供してもらった写真である。また、友人にインタビューをし、おすすめの美術館などを調査した。

5. 制作の過程

① 制作物のテーマを決定

自身の体験から、美術館巡りやアートの楽しさを伝える雑誌の制作することを決定。

② アンケート調査

雑誌を制作するにあたって、美術館にどのような目的でどのような層が来館するかを Google フォームにてアンケート調査。

10月27日～10月4日まで Google フォームを用いて調査を行い、82人の回答を得ることができた。(図7)

美術館、展示会に関するアンケート

こんにちは。
金沢大学文学部人間文化学系メディア・デザインコース4年の美術系です。
卒業制作に関するアンケートに回答いただけるとうれしいです。
アンケートで収集した内容は卒業制作で制作する雑誌に制作する際に使用します。
(1分あたりは回答できます)
該当する項目に回答してください。
ご協力よろしくお願いいたします。

あなたの性別を教えてください

☐ 女性 ☐ 男性 ☐ その他

☐ 選択肢を追加 または 「その他」を追加

図7 アンケートフォーム

③ アイデア出し、台割り作成。

大まかにどんなページを作成する

のかをまとめた。

- ④ 協力依頼、インタビューまとめ
制作にあたり、自分自身が好きな美術館の紹介に偏ってしまわないように、友人にインタビュー依頼。
その後インタビュー内容を書き起こした。

- ⑤ 本のサイズやページ
ファッション誌のように気軽に読んでもらえるような気軽さを出したかったため、ファッション誌と同じ A4 変形サイズの右綴じで作成した。
最終段階で印刷の関係上 A4 サイズに変更した。
紙は落ち着いた雰囲気のあるマット紙を採用した。

- ⑥ 紙面の大まかなレイアウトを考える。(InDesign)

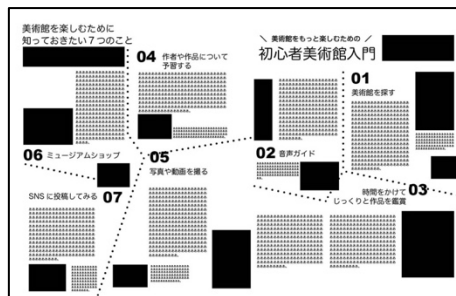


図 8 レイアウト 1

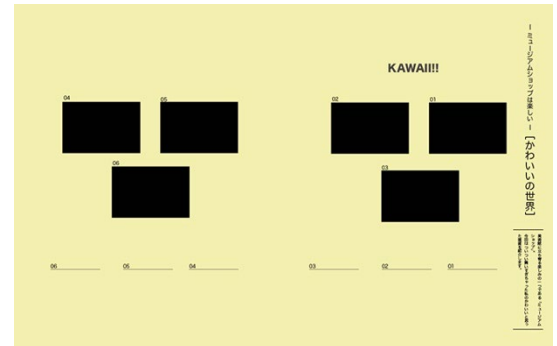


図 9 レイアウト 2

- ⑦ ページデザイン
InDesign で本文や写真を配置し、全体のデザインを調整。
グリットを引き、全体のバランスを見ながら微調整した。

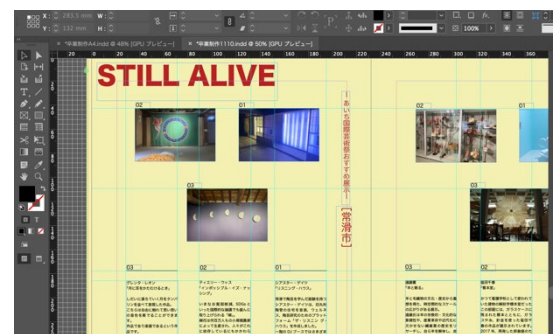


図 10 ページデザイン 1



図 11 ページデザイン 2

- ⑧ サイズ等を調整し入稿準備。
Illustratorなどで表紙サイズを調整し、PDFに書き出した。



図 12 書き出した PDF

⑨ 入稿

印刷の通販 graphic にて雑誌データを入稿。

⑩ 雑誌についての感想や意見をもらい、実際に目的を達成しているかを確認。

Google フォームでアンケートを取り、27 名の回答を得ることができた。

6. 作品に対するアンケート結果と感想

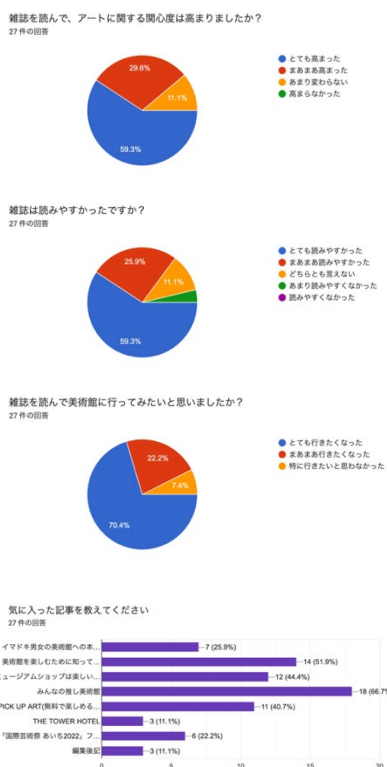


図 13 作品に対するアンケート結果

(感想・意見抜粋)

・私が神奈川県民で西日本の情報なかなか吸いきれないので、京セラやあいちのこと知れて助かりました！

・とても見やすいデザインと分かりやすく親しみやすい文章だったので読んでとても快適でした。みんなの推し美術館が特に面白く、久しぶりに色んな美術館巡りをしたくなりました。

・ご自身で撮られた写真やイラストが豊富に使用されていて、美術館に対する興味により湧きました。写真や文章の背景にあった点線(?)がアートっぽくて本物のパンフレットみたいでした。

・ミュージアムショップに焦点を当てるだけでなく、さらに深掘りして「ポストカード」まで雑誌にまとめている点がとても良いですね。

7. まとめ

アンケートの結果回答した 9 割がアートに関する関心度が高まったと言っていることから(図 13)、当初の目的であった美術館巡りやアートの楽しさを多くの人に伝えることにつながったと考えられる。

また、雑誌を読んで美術館に行きたくないと答えた人が多く、これも当初の目的である美術館を訪れてみたいと思わせる雑誌制作の目的を達成することができたと考ええる。

しかし、雑誌の情報量が多く読みにくかったという声もあったため、より細かくテーマ分けを行った構成や、余白をもう少し増やし余裕を持たせたページデザインをすると

良かったと考えられる。

8. 使用ソフト

InDesign、Illustrator、Photoshop

9. 引用・参考文献・使用イラスト

- ・あいち 2022 パンフレット
- ・ワタリウム美術館パンフレット
- ・視覚トリップ展パンフレット
- ・森村泰昌展パンフレット
- ・京都京セラ美術館美術館パンフレット
- ・Chim ↑ Pom 展パンフレット
- ・金沢 21 世紀美術館パンフレット
- ・使用フリーイラストアイコン

<https://icooon-mono.com/>

- ・使用フリーイラスト

<https://www.shigureni.com/>

- ・フリー背景イラスト

<https://tsukatte.com/moroccan-pattern/>